

PDCA を使って改善することを想定している課題

課題の内容	目標	目標達成の検証方法
1 腫瘍内科の改編・強化	これまで十分な活動がなされていなかった腫瘍内科を改編するとともに、今まで複数の診療科で個別に行われていた化学療法を少なくとも、胃癌、大腸癌、肺癌、乳癌の4大癌を中心として、腫瘍内科に集約することで一本化する。	「昭和大学病院がんセンター設置プロジェクト」の会合を通じて昭和大学病院腫瘍内科のあり方を検討。
2 キャンサーボードの整備	院内癌登録を円滑に進めるために、昭和大学病院を受診したすべての悪性腫瘍患者の把握すること、また治療方針に関する集学的討議の場の提供と癌医療の教育を目的として、整備。	「昭和大学病院がんセンター設置プロジェクト」において方向性を決定。各診療科の代表からなるがんセンター準備委員会を設置。
3 頭頸部腫瘍センターの設置	これまで、大学内で医学部耳鼻咽喉科学教室と歯学部口腔外科学教室が、それぞれ個別に行ってきた頭頸部腫瘍の診療体制を一新し、学際的な「頭頸部腫瘍センター」に統合することによってより高水準の頭頸部癌に対する集学診療体制を構築する。	昭和大学理事会において、「頭頸部腫瘍センター」の設置が承認され、一昨年10月1日より稼働を開始した。今後同センターの運営委員会等が整備される予定である。
4 昭和大学病院腫瘍センターの整備	昭和大学病院における外来癌薬物療法の場合である「腫瘍センター」の更なる整備を目指す。	月1回定期的に開催される「化学療法実務者委員会」において、具体的な改善点を討議する。
5 化学療法レジメンの整備	昭和大学病院における化学療法レジメンの見直しを行い、最新の治療へ更新するとともにこれまで認められたエビデンスの乏しいレジメンを廃止する。診療科ごとに登録されているレジメンを、癌腫別に改訂するとともに、点滴時間や制吐剤の統一化を図る。	月1回定期的に開催される「がん化学療法レジメン審査委員会」において具体的な改善点を討議する。

上記の目標に向けた活動計画の予定

1	「昭和大学病院がんセンター設置プロジェクト」を3回開催し、昭和大学病院における腫瘍内科の方向性を決定。当面は、これまでの腫瘍内科のスタッフに加え、昭和大学病院内で癌薬物療法に関連している呼吸器内科、消化器内科、乳腺外科、産婦人科、耳鼻咽喉科より医員を腫瘍内科に出向させ、腫瘍内科の強化を図る。「昭和大学病院がんセンター設置プロジェクト」の答申を受け、胃癌、大腸癌、肺癌、乳癌の4大癌の薬物療法を腫瘍内科に一本化することが院内のコンセンサスとなった。
2	各診療科の代表からなるがんセンター準備委員会による準備期間を経て、2013年度より順次、「肺癌がんセンター」、「消化器癌がんセンター」、および「乳癌がんセンター」を設置した。これらのがんセンターは、週1回定期的に開催され、内科医、外科医、放射線科医、緩和医療医、病理医、看護師、薬剤師、研修医および医学部学生が、一堂に会している。「乳癌がんセンター」へは、婦人科癌も組み込み、「乳癌・婦人科癌がんセンター」として活動を開始している。これらがんセンターを昭和大学の各分院とつなげるために、昭和大学病院と昭和大学江東豊洲病院間でのテレビ会議システム構築の準備作業を開始している。

3	頭頸部癌に対する医学部および歯学部との垣根を外し、共同して治療に当たる学際的診療体制を構築する。また、形成外科医、放射線治療医、腫瘍内科医も参画することにより、集学的頭頸部癌治療体制のシステムを作り上げる。
4	昭和大学病院腫瘍センターでは、安全で科学的な癌薬物療法を実践するために問題が生じた患者に対する治療の最終決定権を主治医ではなく、腫瘍センター担当医とした。また、腫瘍センター担当医は、癌薬物療法の専門家である腫瘍内科医もしくは血液内科医が担当することを決定した。薬剤性のアレルギーを呈した患者に対してのマニュアルを作成し、緊急時の対応について、医師、看護師を中心に実地にシミュレーションを実施した。さらに、本年より昭和大学病院における癌薬物療法の流れと約束事を新人の医師、薬剤師、看護師と党員へ新たに赴任してきた医師等を対象として教育のための研修会を開始し、毎年継続する予定である。
5	これまで昭和大学病院では、各癌腫に対するレジメンを診療科ごとに決定して登録していたため、同一癌腫に対して複数のレジメンが異なる診療科で実践されていた。また癌腫をまたいで行われる類似レジメンについても点滴時間や、制吐剤がバラバラであり、医療安全上も問題となっていた。腫瘍内科の改編。強化に伴い、レジメンを癌腫別に統一し直すとともに、制吐剤も共通化する作業を開始している。さらに来年度に予定されている電子カルテの導入に向けて、オーダーシステムについても見直しも予定している。

なお上記 PDCA サイクルについては、当院ホームページ（下記 URL 参照）に掲載をしております、地域に広報しております。

「がん対策の PDCA サイクル」 <http://www.showa-u.ac.jp/SUH/guide/gan/pdca/>